

いぶすきまるごと博物館

vol.190

2月25日、「色絵薩摩角形瓶」が市指定有形文化財に指定されました。「色絵薩摩角形瓶」は、鹿児島藩が直接経営した藩窯の堅野窯の製品と考えられており、今和泉島津家に仕えていた家臣宅で「火薬入れ」として現在まで伝わっている焼き物です。

この焼き物の底の外面には、墨書が残っています。それを読むと「御隠居忠喬君より文久元年(1861)酉雨月上九日(旧暦5月9日)玉江邸において拝領なり住長」とあり、今和泉島津家4代当主忠喬が、隠居後の文久元年(1861)に家臣へ下賜したことが分かります。外面には、武勇の象徴である百足文が描かれています。百足は、戦国時代において、武神・軍神として崇拝されていた毘沙門天の使いとされ、武家の間では吉祥文(縁起の良い文様)としても採用されていました。これは、「色絵薩摩」と呼ばれる薩摩焼(県内で生産された陶磁器)の一種であり、「白薩摩」に上絵付けしたものです。保存状態が良いこの「色絵薩摩角形瓶」は、類似品がなく、一点物になります。

近世期の色絵薩摩の具体的な姿や今和泉島津家については、少しずつ明らかにされていますが、不明な点も多いため、1861年以前の製作と考えられるこの

新市指定文化財「色絵薩摩角形瓶」

焼き物は、今後の薩摩焼研究や今和泉島津家の歴史研究に貢献するものとして大変重要な歴史資料であることが分かったのです。

【参考文献】渡辺芳郎 2019 「指宿秋山家伝来の色絵薩摩角形瓶」『指宿市考古博物館時遊館COCCOはしむれ博物館年報・紀要第13号』pp23~32

歴史文化課文化財係 ☎ 5100



色絵薩摩角形瓶

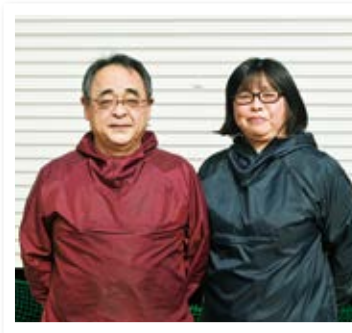
指宿市の魅力を発信!

特産品シリーズ

Special Product Series Vol.59

不屈の精神で誕生した 秘伝の味

指宿市山川にある協栄鮭節は、かつお節やふりかけなどを製造している。工場に入ると、取締役の國澤浩さんが満面の笑みで出迎えてくれた。創業した当初は、山川港で水揚げされたカツオやマグロの加工を行い、県外のつくだ煮工場へ出荷していた。しかし、創業して間もなく会社は大きな壁にぶつかった。それは、バブルの崩壊。未曾有の不景気により多くの在庫を抱える現実に直面した。國澤さんは会社の危機を乗り越えようと、約30年前に自社でのつくだ煮製造に挑戦した。図書館でレシピ本を読みあ



さり、早速カツオのつくだ煮を試作したが、納得いく味に至らなかった。そこで全国の生産地を回り、つくだ煮の味付けや食感、風味を研究した。研究を続けるうちに、國澤さんは和食の味付けが最も日本人に合うと確信した。和食に欠かせないしょうゆ、みりん、砂糖の味付けを基本に、魚の生臭さや塩辛さを抑えるため調味料の分量を調整しながら、納得いく味を追い求めた。そして、カツオのうま味を生かしたつくだ煮「鰹魚煮」が、3年の月日をかけて完成した。お酒のつまみだけでなく、ほぐしてサラダやご飯にまぶすと、うま味が口の中で広がり、老若男女問わず味わえる商品となった。

しかし、各地へ飛び回り営業を続けたが、一向に売りが伸びなかった。午前中は製造、午後からは営業活動と、多忙な日々を過ごした國澤さんに、今から15年前、運命的な出来事が起きる。良質な商品を取り扱うスーパーのバイヤーが、空港の売店で國澤さんの商品を偶然見つけ、高く評価し、買い付けてくれたのだ。この出来事がきっかけで「鰹魚煮」は爆発的に売れ、これまでに100万個を販売。会社の定番商品となった。「たくさんのリピーターが付き、感謝の気持ちでいっぱい」と國澤さんは笑顔で話す。現在は、マグロのつくだ煮やしぐれ煮など、さまざまな水産加工品の製造にも取り組んでいる。「たくさん苦勞を重ねたが、これからも一歩ずつ前を進みたい」と國澤さんは力強く話してくれた。



燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会

運営ボランティア募集

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会指宿市実行委員会事務局 (ふれあいプラザなのはな館内) ☎ 1014



市実行委員会 ホームページ



市実行委員会では、令和5年(2023)に開催されるかごしま国体・かごしま大会の指宿市開催競技会での運営ボランティアを募集しています。大会への参加の可否、活動日や活動場所などの詳細は、大会前に希望調査を行いますので、気軽に申し込んでください。皆さんの協力をよろしくお願いします。

▶対象/市内に居住か通勤・通学している中学生以上の個人かグループ

※申込時点で18歳未満の人は保護者の同意が必要です。

▶活動内容/受付・会場案内、休憩所でのドリンクサービス、競技会場内の環境美化など

▶活動日/1日か半日の単位で、複数日の参加も可能

※報酬・交通費の支給はありません。ユニホーム・昼食などは、必

要に応じて支給します。

▶保険/活動中の事故に備え「傷害保険」「賠償責任保険」に加入します

▶申込方法/電話

※詳しくは問い合わせてください。

開催競技・会期 2023年

- バドミントン競技 (全種別) 10月13日(土)~16日(日)
- ポッチャ競技 (身体障害者) 10月28日(土)~29日(日) ※予定
- ソフトボール競技 (成年女子) 10月8日(日)~10日(火)
- グランドソフトボール競技 (視覚障害者) 10月28日(土)~29日(日) ※予定
- ゲートボール競技 (全種別) 9月23日(土)~24日(日)

スポーツでまちを元気に Sports Commission

スポ☆コミ

Vol.22

SCI (スポーツコミッションいぶすき) は、人口減少対策の一つとして、スポーツ合宿、大会、イベントを誘致・開催することで指宿に訪れる人を増やし、地域交流や地域経済の活性化につなげる取り組みを行っています。

鹿児島ユナイテッドFCが5年ぶりの指宿キャンプ

1月24日(日)~30日(土)、鹿児島ユナイテッドFCのトレーニングキャンプがいぶすきフットボールパークで行われました。SCIでは、サポーター団体の協力を得て、実際の試合で使用されるチーム幕や選手幕をフットボールパークに掲出して、実戦に近い雰囲気を作り、チームをサポートしました。



プロスポーツを活用した地域消費への誘導企画を実施しました

1月29日(土)・30日(日)、プロバスケットボールB3リーグ鹿児島レブナイズ対豊田合成スコーピオンズ戦が指宿総合体育館で開催。チームは2連勝し、10連勝をマークしました。SCIは元祖指宿ラーメン二代目との実験的な取り組みとして「レブナイズが勝つとご褒美」キャンペーンを企画し、地域消費拡大を図りました。



試合会場の指宿PRブースや店頭でPOPやのぼりを活用し利用促進を図りました。今後もこのようなキャンペーンを随時展開していく予定です。

カネボウ化粧品 陸上競技部 激励式

1月15日(土)~24日(日)の期間でカネボウ化粧品の冬季合宿が実施されました。1月17日(日)の激励式では、かつおぶしラーメン実行委員会と指宿鮭節協会、指宿こころの宿から激励品として指宿の特産品が提供され、有留副市長からチームに贈呈されました。



☎ SCI 事務運営部 ☎ 1014